

第 72 回全日本馬場馬術大会 2020 Part I 実施要項

主催：公益社団法人 日本馬術連盟

運営：馬場馬術本部実行委員会

2020 年 9 月 25 日更新（下線部）

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響でやむなく中止を決定致しました第 72 回全日本馬場馬術大会 2020 Part II につきまして、その後の感染症の状況が好転をしている事から、内国産馬の活躍の場を作るべく、2020 年度の Part I については 2020 年度に限り、内国産馬の枠を設けた開催をさせていただきます。

※その【内国産馬】競技についてはそれぞれの種目競技の中に②として設け実施致します。

勝敗決定や表彰についても①と②については別々に実施致します。

例年の要項とは異なりますのでご注意下さい。

※尚、今後の新型コロナウイルス感染症の影響や会場との調整により、内容について変更になる場合がありますのでご注意下さい。

※また、新型コロナウイルス感染症対策の一環で、厩舎や競技場内への入場制限をかける場合がありますので、ご注意下さい。

1. 期日 2020 年 11 月 6 日(金)～8 日(日)

2. 会場 日本中央競馬会 馬事公苑

3. 競技種目および実施課目

第 1 競技 全日本馬場馬術選手権

【規定演技】FEI グランプリ馬場馬術課目 2009（2020 年更新版）

【自由演技】FEI 自由演技グランプリ馬場馬術課目 1999（2017 年更新版）

※ 規定演技において、58%以上の最終得点率を獲得した人馬のうち、上位 15 選手が自由演技に出場できる。

※ 但し、自由演技に出場できる馬は 1 選手 1 頭に限る。

※ 規定演技と自由演技における各人馬の得点率の合計により選手権の順位を決定する。

第 2 競技 FEI グランプリスペシャル馬場馬術課目 2009（2018 年更新版）

※ 第 1 競技規定演技で 58%以上の最終得点率を獲得した人馬のうち、第 1 競技自由演技に出場しない人馬が出場できる。

第 3 競技 インターメディエイト I クラス馬場馬術競技（予選）

FEI インターメディエイト I 馬場馬術課目 2009（2020 年更新版）

※ 第 10 位までの人馬（第 10 位で同率の人馬を含む）が第 8 競技に出場できる。

第 4 競技 ①セントジョージクラス馬場馬術競技（予選）

FEI セントジョージ賞典馬場馬術課目 2009（2018 年更新版）

※ 第 13 位までの人馬（第 13 位で同率の人馬を含む）が第 9 競技①に出場できる。

②【内国産馬】セントジョージクラス馬場馬術競技（予選）

FEI セントジョージ賞典馬場馬術課目 2009（2018 年更新版）

※ 第 5 位までの人馬（第 5 位で同率の人馬を含む）が第 9 競技②に出場できる。

- 第5競技 ①Sクラス馬場馬術競技（予選）
JEF馬場馬術競技 S1 課目 2013（2018年更新版）
※ 第10位までの人馬（第10位で同率の人馬を含む）が第10競技①に出場できる。
②【内国産馬】Sクラス馬場馬術競技（予選）
JEF馬場馬術競技 S1 課目 2013（2018年更新版）
※ 第8位までの人馬（第8位で同率の人馬を含む）が第10競技②に出場できる。
- 第6競技 ①Mクラス馬場馬術競技（予選）
JEF馬場馬術競技 M1 課目 2013（2018年更新版）
※ 第10位までの人馬（第10位で同率の人馬を含む）が第11競技①に出場できる。
②【内国産馬】Mクラス馬場馬術競技（予選）
JEF馬場馬術競技 M1 課目 2013（2018年更新版）
※ 第10位までの人馬（第10位で同率の人馬を含む）が第11競技②に出場できる。
- 第7競技 ①Lクラス馬場馬術競技（予選）
JEF馬場馬術競技 L1 課目 2013（2018年更新版）
※ 第10位までの人馬（第10位で同率の人馬を含む）が第12競技①に出場できる。
②【内国産馬】Lクラス馬場馬術競技（予選）
JEF馬場馬術競技 L1 課目 2013（2018年更新版）
※ 第10位までの人馬（第10位で同率の人馬を含む）が第12競技②に出場できる。
- 第8競技 インターメディエイト I クラス馬場馬術競技（決勝）
FEI自由演技インターメディエイト I 馬場馬術課目 1998（2017年更新版）
※ 第3競技で出場資格を得た人馬が出場できる。
- 第9競技 ①セントジョージクラス馬場馬術競技（決勝）
JEF自由演技国体成年馬場馬術課目（2018年更新版）
※ 第4競技①で出場資格を得た人馬が出場できる。
②【内国産馬】セントジョージクラス馬場馬術競技（決勝）
JEF自由演技国体成年馬場馬術課目（2018年度更新版）
※ 第4競技②で出場資格を得た人馬が出場できる。
※ **Part II の中止に伴い、選手権扱いではありません。**
- 第10競技 ①Sクラス馬場馬術競技（決勝）
JEF馬場馬術競技 S2 課目 2013（2018年更新版）
※ 第5競技①で出場資格を得た人馬が出場できる。
②【内国産馬】Sクラス馬場馬術競技（決勝）
JEF馬場馬術競技 S2 課目 2013（2018年更新版）
※ 第5競技②で出場資格を得た人馬が出場できる。
- 第11競技 ①Mクラス馬場馬術競技（決勝）
JEF馬場馬術競技 M2 課目 2013（2018年更新版）
※ 第6競技①で出場資格を得た人馬が出場できる。
②【内国産馬】Mクラス馬場馬術競技（決勝）
JEF馬場馬術競技 M2 課目 2013（2018年更新版）
※ 第6競技②で出場資格を得た人馬が出場できる。

第 12 競技 ①L クラス馬場馬術競技 (決勝)

JEF 馬場馬術競技 L2 課目 2013 (2018 年更新版)

※ 第 7 競技①で出場資格を得た人馬が出場できる。

②【内国産馬】L クラス馬場馬術競技 (決勝)

JEF 馬場馬術競技 L2 課目 2013 (2018 年更新版)

※ 第 7 競技②で出場資格を得た人馬が出場できる。

4. 出場順

(1) 第 1 競技規定演技および第 3、4、5、6、7 競技の出場順は、本大会実行委員会が抽選により決定する。

第 4、5、6、7 競技の①と②は別々に実施する。

(2) 第 1 競技自由演技、第 2、8、9、10、11、12 競技の出場順は、第 1 競技規定演技、第 3、4、5、6、7 競技の結果のリバースオーダーを基本とする。

第 8、9、10、11、12 競技の①と②は別々に実施する。

(3) 選手あるいは馬匹の出場時間帯の重複を避けるために、出場順を調整する場合がある。

5. 参加資格

(1) 選手は、参加申し込み時において日本馬術連盟の登録会員で、かつ日本馬術連盟騎乗者資格 B 級以上の取得者であること。

(2) 日本馬術連盟が特に認めた者。

(3) 馬匹は、参加申し込み時において日本馬術連盟の登録馬であること。

(4) 日本馬術連盟の登録会員でない団体は、所属の名称として使用できない。

6. 参加条件

(1) 同一人馬の出場は 1 競技のみとし、馬は選手を替えて 2 つの競技まで出場できる。ただし、第 1 競技に出場する馬は、他の競技に重複して出場することはできない。

(2) **同一競技への出場は 1 選手 1 頭を限度とする。**

但し、第 1 競技のみ 1 選手 2 頭まで出場できる。

各競技内の①と②の両方への選手の出場はできる。

(3) **馬の出場は同一競技 1 回限りとする。**

(4) 各競技②に出場する馬は、2020 年 9 月 27 日時点で内国産馬登録がなされていること。

注意

(5) 各競技②の内国産馬競技**以外**に参加申し込みする人馬のコンビネーションは、**2019 年 9 月 24 日から 2020 年 9 月 27 日まで**に開催された公認競技会において、以下に示す課目の認定種目に 2 回以上出場し、上位 2 回の平均が 58%以上であること。なお、決勝課目 (第 1 競技については自由演技課目) の出場実績は問わない。さらに、上記をクリアした人馬が、以下に示す各競技の出場枠数を超えた場合は、上位 2 回の平均成績の上位から出場権を与える。なお、出場辞退があった場合は、参加条件を満たす範囲で順次繰り上げる。

(6) 各競技②の内国産馬競技に参加申し込みする人馬のコンビネーションは、**2019 年 5 月 27 日から 2020 年 9 月 27 日まで**に開催された公認競技会において、以下に示す課目の認定種目に 2 回以上出場し、上位 2 回の平均が 55%以上であること。なお、決勝課目の出場実績は問わない。さらに、上記をクリアした人馬が、以下に示す各競技の出場枠数を超えた場合は、上位 2 回の平均成績の上位から出場権を与える、なお、出場辞退があった場合は、参加条件を満たす範囲で順次繰り上げる。

なお、内国産馬が①と②の両方で出場権を得た場合、①あるいは②のいずれかのみでの出場とする

【競技別出場権獲得認定種目】

第1競技	全日本馬場馬術選手権	FEI グランプリ馬場馬術課目
第3競技	インターメディエイトIクラス	FEI インターメディエイトI馬場馬術課目
第4競技①・②	セントジョージクラス	FEI セントジョージ賞典馬場馬術課目
第5競技①・②	Sクラス	JEF 馬場馬術競技 S1課目またはS2課目
第6競技①・②	Mクラス	JEF 馬場馬術競技 M1課目またはM2課目
第7競技①・②	Lクラス	JEF 馬場馬術競技 L1課目またはL2課目

【競技別出場枠数】

競技名	出場枠数	リザーブ数
第1競技 全日本馬場馬術選手権	20	10
第3競技 インターメディエイトIクラス	20	10
第4競技①セントジョージクラス	25	13
②【内国産】セントジョージクラス	10	5
第5競技①Sクラス	20	10
②【内国産】Sクラス	15	8
第6競技①Mクラス	20	10
②【内国産】Mクラス	20	10
第7競技①Lクラス	20	10
②【内国産】Lクラス	20	10

*各競技の出場権獲得人馬は、2020年9月27日時点で登録がある馬匹を対象に、対象期間に実施された公認競技会における成績に基づき算出する。

尚、②の内国産馬に出場する馬は2020年9月27日時点で内国産馬登録がされていること。

新型コロナウイルス感染拡大防止のための参加条件緩和により、今年度は日馬連 Web サイトに掲載されるランキングは使用しない。

- (7) 申し込み時点で馬場馬術ナショナルチームメンバーに認定されている選手は、日本馬術連盟競技会規程第118条に基づき、推薦枠により第1競技に限り出場することができる。

7. 競技会規程

日本馬術連盟競技会規程最新版、日本馬術連盟獣医規程最新版による。

8. 参加料

- (1) 選手参加料
- | | | |
|-----------|--------------|-------------|
| 第1競技 | ナショナルチーム認定選手 | 13,000円/1人馬 |
| | その他選手 | 26,000円/1人馬 |
| 第3～7競技 | ナショナルチーム認定選手 | 13,000円/1人馬 |
| | その他選手 | 18,000円/1人馬 |
| 第2、8～12競技 | (現地納入) | 11,000円/1人馬 |

※ 参加料の内、1競技あたり2,000円を任意のオリンピック協賛金とする。

- (2) 馬匹参加料
- | | |
|-------------|------------|
| 出場権を獲得した馬匹 | 16,000円/1頭 |
| 本部推薦馬(第1競技) | 81,000円/1頭 |

- (3) 振込先 三井住友銀行 日本橋東支店 普通
(口座番号) 7473283 (名義) 馬場馬術本部実行委員会

※ 参加料の納入は、**銀行振込のみ**とする(振込み以外は受け付けない)

※ 一度納入した参加料は、競技に出場しない場合でも返却しない。ただし、主催者側の都合により競技を取りやめた場合は、この限りではない。

9. 申込方法および締切

- (1) 参加申込は、出場権獲得人馬発表よりオンラインで受け付けし、**2020年10月8日(木)**までとする。
- (2) 申込に不備等がある場合は、出場を認めない場合がある。
- (3) 第1競技自由演技、2、8、9、10、11、12競技への申込みは、予選競技の成績発表後直ちにおこなうものとする。

10. 宿泊

- (1) 選手および選手関係者の宿泊は各自手配すること。
- (2) 厩舎地区は禁煙とし、会場内とその周辺でのテント設営、自炊、火気の使用は認めない。
- (3) 馬取扱人の宿泊については各自手配すること(会場内は宿泊できない)。

11. 参加馬の入厩および退厩

- (1) 滞在できる期間は、2020年11月4日(水)～11月8日(日)とする。
- (2) 入厩時間は、**11月4日(水)および5日(木)の9:00～16:00**とする(所定の時間外に入苑することはできません。また、道路交通法により、馬事公苑付近の公道で駐停車はできません)。申込時に到着予定時刻を申告すること。なお、入厩当日の準備運動馬場開放時間は、**11月4日(水)13:00～16:00**
および11月5日(木)8:00～16:00とする。
- (3) 競技開催中は、馬運車の移動はできない場合がある。
- (4) 入退厩は、大会実行委員会の指示に従って馬運車の移動を行うこと。(入退厩手続きについては、決定次第発表する)
- (5) 参加馬は、主催者から提供された馬番号を、競技の間を通じて装着していなければならない。

12. 馬糧・敷料

- (1) 馬糧は、各自が持参し退厩の際は全て持ち帰ること。
- (2) 敷料は、木材チップのみとし、実行委員会が手配する。

13. 馬の防疫

- (1) 下記の事項が記載された馬の健康手帳を携行すること。
 - ①馬インフルエンザの予防接種を以下の要領で実施し、その接種証明。
 - ・基礎接種として初回ワクチン接種を実施してから21日以上・2ヵ月以内に2回目のワクチン接種を行い、その後、7ヵ月以内に最初の補強接種を行い、それ以降は1年以内に継続的に補強接種を受けていなければならない。
 - ・競技場に入厩する6ヵ月+21日以内に補強接種(または基礎接種の2回目)を受けていなければならない。ただし、競技場へ入厩する前1週間以内のワクチン接種は接種歴として認められない。
 - ・2008年3月31日以前に基礎接種を完了している馬については、基礎接種の後の最初の補強接種は1年以内であれば可とする。
- (2) 馬インフルエンザが疑われる馬匹は入厩できない。出発前1週間の臨床症状をよく観察し、馬インフルエンザを疑う症状がある場合は、獣医師に検査を依頼すること。
- (3) 馬輸送用馬運車は、積み込み前にその内部をパコマあるいは逆性石鹼等で消毒すること。
- (4) 入厩予定日において、輸入検疫後の着地検査中(3ヵ月)の馬匹は出場できない。
- (5) 上記が守れない場合や申込書類に不備がある場合は、入厩を認めない。

14. ホースインスペクション

- (1) 第1競技出場馬を対象に、11月5日(木)15時00分よりホースインスペクションを実施する。
- (2) ホースインスペクションにて馬を曳く者は、正装(ジャケット・タイ等)して参加すること。

15. ドーピング検査

- (1) 本大会に参加する全ての人馬を対象として、規程に則りドーピング検査を行う予定である。
- (2) 馬の管理責任者は、競技会での馬の騎乗者（競技者）とし、厩舎地区の保安管理の如何を問わず、自らの管理責任と薬物検査の結果に対する責任を免れることはできない。

16. 打合せ会

新型コロナウイルス感染を防止する為、打合せ会は実施いたしません。代替の対応方法については、別途ご案内させていただきます。

17. 表彰式

新型コロナウイルス感染を防止する為、表彰式については例年とは異なる形式での実施の可能性があります。

- (1) 表彰式の日程は、別途連絡する。
- (2) 表彰式には原則として選手が正装で参加すること。正当な理由なく参加しない場合は入賞の資格を失う。なお、選手が参加できない場合は代理を可とするが、その場合も正装で参加すること。

18. 褒賞

- (1) すべての競技と実施課目で表彰を行う。
- (2) 第1競技規定演技および自由演技、第2、3、4、5、6、7競技は第1位の選手に賞杯を贈り、上位1/4までに馬リボンを贈る。ただし、出場人馬が20組以下の場合、5位までを入賞とする。
- (3) 第1競技（選手権）は、第10位までを入賞とし、第1位から第3位までの選手に賞状・メダル・厩舎掛けを贈る。また、入賞者に馬リボンを贈る。
- (4) 第8、9、10、11、12競技は、第5位までを入賞とし、第1位から第3位までの選手に賞状・メダルを贈る。また、入賞者に馬リボンを贈る。
- (5) 各競技の①と②は、それぞれで勝敗を決定し、表彰を行う。
- (6) 第1競技、第9競技の優勝者の賞典は下記による。
 - ・ 第1競技 全日本馬場馬術選手権 日本馬術連盟会長賞
三笠宮杯
ドイツ大使賞
遊佐賞
日本中央競馬会賞
地方競馬全国協会賞
 - ・ 第9競技① セントジョージクラス（決勝）中村慶蔵賞
- (7) 入賞した馬匹の所有者に対し、下記の通り飼育奨励金を支給する。支払いは銀行振り込みとし、馬匹所有者は、表彰式終了後に振込先通知書類を大会本部宛に提出すること。なお、この飼育奨励金は、表彰を受けた者の雑所得となるため、収入に上げる必要があり、申告の対象となる。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
第1競技	120,000	90,000	60,000	45,000	30,000	15,000
第8競技	100,000	75,000	50,000	35,000	20,000	---
第9競技①	100,000	75,000	50,000	35,000	20,000	---
第9競技②	50,000	30,000	10,000	---	---	---

19. 自由演技課目に使用する音楽 CD

- (1) 自由演技課目に使用する音楽 CD については、**録音利用明細書**（一般社団法人日本レコード協会、一般社団法人日本音楽著作権協会 共通様式）を大会主催者に提出する。オリジナル曲の場合も必ず提出する。
なお、録音利用明細書については、当連盟ホームページからダウンロードする。
- (2) **録音利用明細書**については、自由演技（第1競技、第8競技、第9競技）に出場を考えている選手は、大会の申込締切日までに日本馬術連盟まで FAX（03-3297-5617）、郵送、メール（music@equitation-japan.com）のいずれかの方法で提出する。

- (3) **音楽CD**については、大会会場において、主催者に提出する。また、音楽CDには選手名、馬匹名、種目名を明記し、バックアップ1枚を含む計2枚を提出すること。
尚、CDの表面にシール等の添付がある場合は、機械が読み取れないことがある為、添付は避けること。
- (4) CD作成にあたっては、使用する楽曲のみを保存し、入場曲付きとすること。使用媒体はCDのみとし、MD・カセットテープ等は不可とする。

20. その他

- (1) 場内で、競技に差し障りのない場所を選定し、報道関係者等による写真・ビデオ撮影を行う。
- (2) 資格を誤って申し込んだ場合は出場を認めない。また、競技期間中に発見された場合は失格とし、以後実施される競技には出場できない。
- (3) 選手は、健康保険証（またはそれに代わるもの）、乗馬登録証および馬の健康手帳を持参すること。
- (4) 選手は何らかの傷害保険に加入していること。
- (5) 事故のないように十分注意すること。万一の場合、応急処置は講ずるが大会実行委員会および主催者はその責を負わない。
- (6) 競技場周辺あるいは練習馬場等において事故のないよう細心の注意を払うこと。
- (7) 厩舎地区およびその周辺地区は各参加団体の自主管理とし、貴重品の管理には十分注意すること。
- (8) 厩舎地区およびその周辺は火気厳禁とする。
- (9) 清掃は各団体で協力して行い、ゴミは各団体で持ち帰ること。
- (10) 競技会場が定める遵守事項および打ち合わせ会における注意事項を厳守すること。
- (11) 一般車および馬運車の駐車は、大会実行委員会の指示に従うこと。厩舎地区は全面駐車禁止とし、車両は定められた駐車場を利用すること。
- (12) 大会実行委員会からの注意勧告に対して、改善の見られない団体に対しては失格とする場合がある。
- (13) 選手および関係者はメディカルカードを常に携行すること。
- (14) 日本馬術連盟ウェブサイトに掲載の案内に注意すること。